

# 有形から無形へ

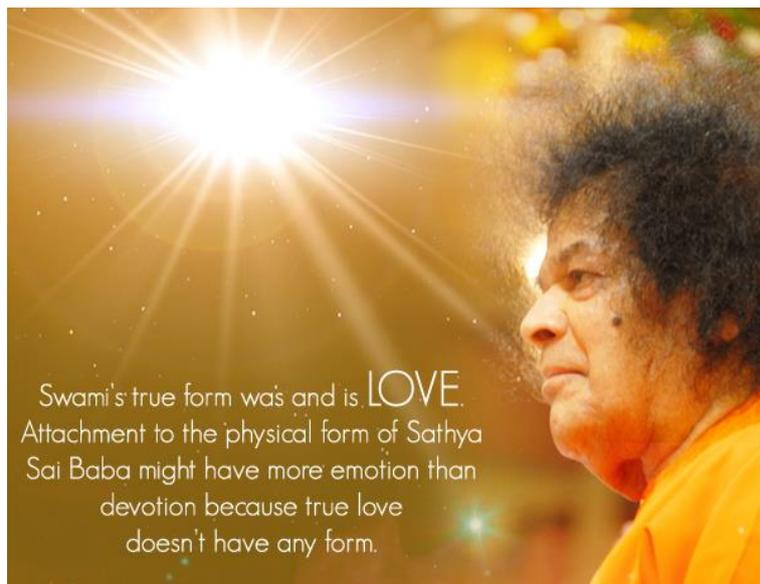
## 神のご計画に調和して生きること

### ヌーシン メフラバニ女史

ヌーシン メフラバニ女史はイランで生まれ、イランの国営ラジオとテレビの報道員として働いていました。彼女はアメリカ合衆国のロサンゼルスに移住した後も、イランのテレビ局の仕事を続けました。1991年、初めてサイ ババのことを聞いた時から、ヌーシン女史は何度もインドへ旅をし、バガヴァンと交流する幾つかの機会に恵まれました。現在、彼女は自分の「ホーム（家）」と呼ぶプッタパルティに住んでいます。また彼女はスワミへの旅を物語る『愛と苦痛』という本も著しています。

私たちの最愛の神が、その尊いお体を去られてから1年以上が過ぎました。私たち1人ひとりが、異なる方法で、そのショックと苦痛に向き合ってきました。私はプッタパルティに住んでいますが、そこはサイの信者たちにとって、世界の中心に住んでいるような場所です。この1年、愛するグルである神、バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババに敬意と忠順の意を表すため、世界中の信者たちがこの地を訪れました。

スワミが肉体を離れた事実を受け入れられない人々もいます。インターネットや口伝で、あの同じ美しい身体を持って、しかも健康で強靱になって、スワミが戻って来るという数多くの噂があります。そのことを絶対的な確信を持って信じている人たちもいます。私は何人かの人たちに、ババはいつ、なぜ、戻って来



られると思うのかを尋ねました。私は幾つかの理由を聞きました。「ババご自身が、96

歳まで生きると宣言されている」というのがお決まりの理由です。他の人々は、スワミはまだ彼の使命を終えていない、等々と感じています。

私はこれらの説明に意味のある答えを見つけることができません。スワミの真の御姿は**愛**です。今も昔も、それは変わりません。サティヤ サイ ババの肉体に対する執着は、信愛というよりは情愛といえるかもしれません。なぜなら、真の愛は姿形を取らないからです。

この一切が、私に考えさせるのです。私たちは、スワミの使命と神のご計画について何を本当に知っているのだろうか、と。それは神のお仕事です。まだここで肉体を持って生きている私たちにとって、自分の使命を終えていないのは、私たち自身ではないかと思われます。神のご意志を受け入れ、信頼し、全託することによってのみ、これらの鋭い疑問は私たちの心（マインド）を飛び跳ねるのを止めることでしょうか。無執着は靈性における第一歩です。これを十分に実践できているかどうか、自問してみなければなりません。**アヴァターの姿形が消えゆくことを受け入れられないなら、どうして世俗（物質界）で無執着を身に着けることができるでしょうか？ どうして神のご意志に全託することができるでしょうか？**

スワミジは 85 年間肉体をまとい、私たちを救い、私たちに教えるためだけに、ご自分の肉体を離れられました。ちょうどイエスが人類を救うために十字架に掛かったように。しかし、どれくらいの人々がその真理を理解しているのでしょうか？ 何人の人が、今、そのことを悟っているのでしょうか？ スワミは、信者の誰かの病気を肩代わりする以外、アヴァター（神の化身）にはどのような病気も近づくことはあり得ないとおっしゃっています。愛と慈悲ゆえに、ババはご自分の信者たちとこの惑星を守るために、どんなことでもなさるでしょう。ババには、状況次第で神のご計画を変更する権利もあります。それはババのご計画であり、サイの肉体の中に宿って働いていた神は、何が最善であるかをご存知なのです。

スワミの信者としての 21 年間に、ある教えが直ちに私のハートの中に入ってきました。「『私は誰か？』と自問しなさい。それから、実践を通して、あなたは自分の本性を発見するでしょう。それは神と分離したものではありません」

もし自分の本性を悟ることができれば、スワミが誰であるかを知るのは簡単なことでしょう。二元の世界に住んでいるため、私たちは時おり、忘れてしまうのです。

ガラスの棺に納められたスワミの肉体を初めて拝謁した日、私はスワミにこう尋ねました。

「あのキラキラと輝く美しい瞳はどこですか？ あの優しい笑顔はどこですか？ 私たちを祝福するために掲げられた、あの手はどこにあるのですか？」

次の瞬間、私の全存在はある強烈な意識に満たされました。これらのすべて — 瞳ではなく、光り輝くもの。微笑みだけではなく、美しいもの。スワミの手ではなく、祝福するもの — それらすべては、アートマ（真我）に属しているのです。肉体ではありません。私の内なるスワミが言い添えました。

「魂が肉体から離れたなら、残るのはただの屍にすぎません。そのことを、皆が来て見ることができるように、私は二日半の間、ここに肉体を残しておきました。この肉体は、神の役割を演じるための道具に過ぎなかったのです」



私は、スワミのご遷化を悲しく感じているサイの兄弟姉妹の皆さんを非難しているのではありません。神は、サティヤ サイ ババの肉体を通して、私たちに愛と希望と喜びを与えてくださいました。遍在の神もまた、この世界に五つの元素として存在しており、私たちの肉体はこれら五つの元素から出来ています。生きていようと、死んでいようと、神は至る所に浸透し、万物の中に存在しています。その英知と、神の子供たちと被造物にとって何が最善であるかをご存知である全能の神に信頼を置くことは、私たちを有形から無形へと連れて行きます。

スワミはただ、ダルマ、真理、愛、平安、非暴力を復興するためのみならず、私たちに私たちの真の正体を教えるために来られました。もしスワミに同じ肉体を取って戻ってきてほしいと望むなら、私たちは歩き方を身につけた成熟した子どもでありながら、まだ両親に抱きかかえて歩いてほしいと望んでいるようなものではないでしょうか？

スワミジは、彼の御教えという宝物を私たちに残してくださり、その御教えは永遠に生きています。『ラーマーヤナ』や『バガヴァッドギター』を読むことにより、私たちは今生で出会ったことがなくても、ラーマやクリシュナへの愛を体験します。さらに、彼らの御教えに注意を払います。彼らの愛や偉大さを感じ取ります。物質世界に対するどのような愛も、いつか消えゆく運命にあります。唯一の永遠なる愛は、アートマへの愛だけです。だからこそ、それは賢く、一時的なものには執着しないのです。

スワミがなされた最後の御講話の一つは、神の真の正体(本性)に関するものでした。スワミはおっしゃいました。

「神には名前も、姿も、特徴(属性)もありません。神を見た人は誰もいません」

神の一つの姿との関係は一時的なものですが、その思い出は残ります。肉体の中にあつて機能するエネルギーとの関係は、永遠に私たちと共にあります。だからこそ、無形の神との絆を修復するために、神は有形の姿をお取りになるのです。



信者として、私たちは神を一つの姿に限定することはできません。キリスト教徒は「イエスは神だ」と言いますが、「神はイエスだ」とは決して言うことはできません。なぜ

なら神を一つの姿に限定することになるからです。すべての御名と御姿は、唯一の無形の神、アートマ、すなわち万人の中である役割を演じている「魂」に属しています。ラーマやクリシュナやサイ ババの名前は、神であると考え御姿に当てがわれます。肉体は消え去りますが、神のエネルギーは今も生きています。スワミは、神は決して行ったり来たりはしない。ただ肉体だけが生まれ、死ぬ運命にあるのだ、と教えてくださいました。

神であった私のスワミが、私の人生から消えてしまったとは思いたくありません。スワミは今でも私の夢に現れてくださいます。まだ物理的なレベルでスワミの遍在を見る必要がある人々のために、スワミは数多くの奇跡を起こすのに忙しいことでしょう。しかし、自分のグルである生きた神との関係を保持するかどうかは、あなた次第です。もしスワミは死んだと思うなら、これ以上スワミが私たちの人生で役割を果たされることはないでしょう。なぜなら、私たちはスワミが二度と帰って来ないと感じているからです。しかし、もし私たちがスワミは永遠の真理であり、常に私たちを導き、守り、救ってくださると信じているなら、スワミが肉体をまどっつていようと、まどっつてまいと、何も気にする必要はありません。目に見えなくても、神はあらゆる場所にいるのです。神は、山をも動かすことができますが、そうするために肉体を取る必要はありません。

神は同じ肉体をまどっつて戻ってくることもできるでしょう。しかし、それが何を証しするのですか？ それは必要なことでしょうか？ サイ ババは神の化身です。ババに戻ってきてもらう必要があるのなら、おそらく私たちはババの神聖さと、私たちの神との体験に疑いを抱いています。自己探求を通して、私たちとスワミとの関係をどう解釈するかは、私たち次第です。強い信仰と信愛は、信じ難いことを可能にします。少なくとも、自分の中にそれだけの自信を持たなくてはなりません。中には、普遍的な意識の境地に上昇するよりも、スワミに戻ってきてほしいと祈る方が簡単な人もいます。私にとっては、スワミが肉体を持って戻られることに関する一切は、スワミが私たちの信仰心をテストして、あらゆる場所に神を見るという次のステップへ進む準備ができているかどうか、あるいは何度もくり返し神性の証拠を欲しがるかどうかを試すために作り出された、もう一つのリーラー（遊戯）に過ぎません。

すべてのメッセンジャー（使者）と神の化身たちは、一定の期間、地上に降臨します。彼らは私たちのために、彼らの教えという真理を残していきます。たとえ彼らに一度も会ったことがなかったとしても、私たちはそれらの教えを信じています。2000年を経た現在でさえ、人々はイエスの生誕地を訪れます。それはイエスを信じているからです。

このサイの恩寵の時代、私たちはオーディオ（音響機器）やビデオ、美しく優しいスワミの御声が聞ける御講話などを利用することができます。2000年も待つ必要はありません。私たちは今、ここに、これらすべての宝物を持っているのですから、そのことに感謝して、一瞬も無駄にしてはなりません。もし望むなら、いつでもこれらを通してスワミに繋がることのできるのです。



幸せの秘訣は、過去や未来にではなく現在に生きることだ、とスワミは教えてくださいました。スワミの復活に関するこれらの噂を伝えることで、私たちはスワミの御教えとは反対のことをしています。現在に焦点を当てておらず、スワミを信頼せず、スワミにすべてを委ねていないのです。

数年前、素晴らしい話をしてくれたあるアメリカ人の信者に出会ったことを思い出します。ある日、その信者は2050年についてスワミに質問する機会を得ました。その年には太陽が地球に衝突し、すべてが破壊されることになるだろうと聞いていたからです。スワミは即座にお答えになりました。

**「なぜ心配するのですか、あなたはここにさえないでしょうに」**

なんと素晴らしい教えでしょうか！ 私たちは常に何かについて心配しています。たとえそれが自分に関係のないことであっても、です。

スワミは、私たちが過去を思ったり、未来を心配したりすることを望んでおられません。スワミは決して、私たちの好奇心を満たすために直接的な答えを与えたりなさいません。スワミはご自分が意志なされた通りに物事を明らかにされます。心がまったく現在に留まっていない人々もいます。彼らは プレーマサイの生誕地や生涯に関する情報を入手するため、必要以上の距離を訪ねて回ります。神は常に私たちより賢明なのですから、これは奇妙なことです。スワミはプレーマサイの生誕地について言及されたかもしれませんが、正確に、いつ、プレーマサイがアヴァターであることを明らかにするかわかるのですか？ 彼はたぶんその村に生まれてくるでしょうが、後に他の場所へ引越すかもしれません。プレーマサイは、内側から自分の信者たちを御前に呼び寄せることでしょう。 unnecessary information with heart, worldly life's duality continues instead, we just open heart, mind empty, that's all. If you want to know secrets, you can't expect, we can't control, don't worry.

スワミジは、私たちが彼の前を歩くことも、後ろを歩くことも望まない、とおっしゃいました。ただスワミと手をつないで、一緒に歩けば十分なのです。スワミは最適なタイミングで、知る必要のある一切を私たちが受け取ることを確実にして下さることでしょう。

スワミジ！ 私たちは皆、心の底からあなたを愛しています。しかし、私自身は、あなたに肉体という牢獄に戻ってきてほしいとは祈りません。そうする代わりに、最愛のあなたに溶け込むことのできる境地へ、どうか私を連れて行ってください。

ジェイ サイ ラム。

出典：[http://media.radiosai.org/journals/vol\\_10/01JUN12/03\\_Nooshin.htm](http://media.radiosai.org/journals/vol_10/01JUN12/03_Nooshin.htm)